

町民と議会の懇談会

- 2 令和5年第1回臨時会概要
- 3 令和5年第1回定例会概要
- 5 第2審 判決
- 6 所管事務調査報告(産業厚生常任委員会)
- 7 所管事務調査報告(議会改革・活性化特別委員会)
- 8 令和5年度予算審査
- 12 一般質問7名
- 20 委員会・協議会の活動
- 22 町民と議会の懇談会

しらぬか

2023. 4.25 NO.160

議会
だより

町民と議会の懇談会委員長挨拶

(町民と議会の懇談会)

行政報告

外国語指導助手の退任

外国語指導助手、モウ ハイフェイさんが、4月に離任することが、教育長から報告されました。

●退任あいさつ（抜粋）

わずか1年間という期間でしたが、仕事はもちろんのこと、生活においても、本当に貴重でかけがえのない時間を過ごさせていただきました。

着任当初は、不安でいっぱいでしたが、教育委員会の皆様をはじめ、各学校、こども園の先生方のおかげで、だんだんと慣れていくことができました。ご指導をいただいた皆様とお世話になった皆様に心より感謝いたします。

そして何よりも私は、子どもたちからたくさんの感動と喜びをもらいました。園舎が引っ越した後に、丁寧に案内してくれた白糠こども園の子どもたち。冬休みの後、「モウ先生、髪は結構伸びましたね」といって、いつも私のことに関心をもってくれた庶路学園の子どもたち。「モウ先生はもう来なくなったと思って心配していたよ、でもまた来てよかった」といつも一生懸命話そうとしてくれた白糠学園の子どもたち。「面白かった！何で中国語授業は1か月に1回だけですか？」と、毎回意気込んで授業に集中してくれた茶路小中の子どもたち。その可愛い、素直な姿を見て、感動をいっぱいもらいました。



モウ ハイフェイさん

最後になりましたが、町民の皆様のさらなるご多幸と、白糠町の益々のご発展、子どもたちの心と体の穏やかな成長を心よりお祈り申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

予算審査特別委員会

令和5年度一般会計及び特別会計予算審査のため、議長を除く全議員により「令和5年度白糠町各会計予算審査特別委員会」を設置しました。

予算審査内容は、8ページから11ページに掲載しています。

第1回 定例会

3月2日

- 行政報告
- 町政執行方針
- 教育行政執行方針
- 所管事務調査報告（産業厚生）
- 特別委員会報告

3月3日

- 補正予算
- 条例改正等
- 指定管理者の指定
- 新年度予算審査の特別委員会付託
- 工事委託業務に関する協定の一部変更
- 町道路線の廃止
- 町道路線の認定

3月8日

- 新年度予算
- 条例の制定

4年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 4525 万円
総額 264 億 6819 万円

●増額	
財政調整基金等	1,407,000 円
生活交通路線維持対策事業費補助	3,997,000 円
道営草地整備事業負担金	12,000,000 円
燃料費	3,872,000 円
町道除雪業務	20,000,000 円
繰出金	244,000 円
返還金	1,830,000 円
町債利子等	1,900,000 円

条例等

一部改正

●白糠町議会の議員の定数を定める条例
議員の定数「13人」から「12人」に改正しました。

●白糠町議会委員会条例
総務文教常任委員会及び議会運営委員会の委員の定数を「7人」から「6人」に改正した。
資格審査特別委員会及び懲罰特別委員会の委員の定数を「9人」から「6人」に改正しました。

●白糠町議会基本条例
広報広聴調査特別委員会の委員の定数を「5人」から「6人」に改正しました。

●白糠町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例
報酬月額をそれぞれ、18,600円増額し、議長は「295,000円」から「313,600円」に、副議長は「237,000円」から「255,600円」に、常任委員長及び議会運営委員長は「212,000円」から「230,600円」に、議員は「186,000円」から「204,600円」に、報酬月額を改正しました。



次回の定例会は
6月上旬の予定

行政視察の受け入れ

○福島県磐梯町議会 総務文教厚生委員会
2月20日「白糠町温水プール、総合体育館」
・体育施設への指定管理者制度の導入について

第1回 臨時会

2月1日

- 専決処分の承認（令和4年度補正予算）
- 令和4年度補正予算
- 条例改正

4年度補正予算

一般会計補正予算（専決含む）

補正合計 33 億 497 万 4 千円
総額 264 億 2294 万円

●増額	
まちづくり基金	1,728,669,000 円
ふるさと納税関係	1,571,331,000 円
出産・子育て応援給付金関係	4,974,000 円

表彰

議会議員として15年以上在籍した者として、全国町村議会議長会より富田議員が表彰を受けました。



富田忠行議員

町道路線の廃止・認定

町道、路線名「東2条北1号通り」の終点の北側の道路は、私道として利用されている道路でしたが、土地所有者から寄付の申し出があり、町道路線認定要綱の基準を満たしていることから、路線の終点、延長が変わったため、道路法に基づく手続きを行いました。

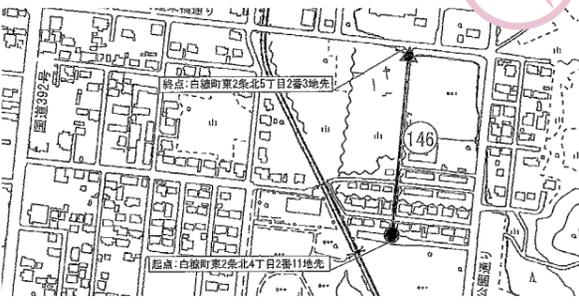
廃止

- ・起 点 白糠町東2条北4丁目2番11地先
- ・終 点 白糠町東2条北4丁目2番3地先
- ・道路延長 45 m
- ・敷地幅員 4.5mから4.5m



認定

- ・起 点 白糠町東2条北4丁目2番11地先
- ・終 点 東2条北5丁目2番3地先
- ・道路延長 224.6 m
- ・敷地幅員 5 mから7.47 m



- **裁判所の判断(抜粋)**
- (1) 町議会の議会運営委員会は令和2年3月3日、同年の町議会第1回定例会の運営につき、会期を決定するとともに
- **主 文**
- **控訴提起**
- 令和4年4月8日
- 【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会
- 1 本件控訴を棄却する。
 - 2 控訴人の当審における予備的追加請求に係る訴え及び訴えの交換的変更後の請求に係る訴えをいずれも却下する。
 - 3 当審における訴訟費用(弁護士費用は含まれない)は全て控訴人の負担とする。
 - 4 なお、原判決中、マスク不着用で白糠町議会の議場に出席して発言する権利があることの確認を求めた請求に係る部分は、控訴人の当審における訴えの交換的変更により、失効している。

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

● **主 文**

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

- **控訴提起**
- 令和4年4月8日
- 【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会
- **控訴提起**
- 令和4年4月8日
- 【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会
- **控訴提起**
- 令和4年4月8日
- 【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

第二審判決

マスク着用義務不存在確認等請求事件に関する報告

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

● **控訴提起**

令和4年4月8日

【控訴人】福地裕行
【被控訴人】白糠町
白糠町議会

- **白糠町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例**
- **白糠町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**
- **白糠町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**

3件の条例は、こども家庭庁設置法の施行に伴う、子ども・子育て支援法の改正と保育事業所や児童福祉施設での安全計画策定の義務化、乳幼児送迎時の安全確認、感染症及び食中毒防止措置など関連法改正に伴う一部改正。

指定管理者

- **白糠町公の施設に係る指定管理者の指定**

白糠高等学校生徒の全国募集に伴い設置した白糠町多目的宿泊施設の指定管理者を指定しました。

質疑・答弁

- 問 管理する人員は何名か。
- 答 2名の職員を配置する予定。緊急時等には、ほかの施設を管理している職員も応援の対応ができる体制をとる予定。
- 問 町外などから入学した生徒が入寮を希望された場合の対応は。
- 答 釧路市内でも遠い地区から通うことになる生徒がいた場合、相談に乗るということで、高校にも話をしている。

特別委員会報告

議会改革・活性化特別委員会の立石委員長から調査結果の報告が行われました。報告の内容は、7ページに掲載しています。

所管事務調査報告

産業厚生常任委員会の山吉委員長から調査結果の報告が行われました。報告の内容は、6ページに掲載しています。

協定の変更

- **白糠町公共下水道白糠下水道管理センター設備更新工事委託業務**
- 事業費の確定により、協定金額に変更が生じたことから、協定を変更しました。

条例等

制定

- **白糠町個人情報保護法施行条例**

「個人情報の保護に関する法律」が改正され、令和5年4月から個人情報保護制度の法体系が一元化されることから、現行の「白糠町個人情報保護条例」を廃止し、新たに「白糠町個人情報保護法施行条例」を制定。

- **白糠町個人情報保護審査会条例**

「白糠町個人情報保護条例」の廃止に伴い、白糠町個人情報保護審査会の設置や運用に関する事項を規定するため「白糠町個人情報保護審査会条例」を新たに制定。

- **白糠町議会の個人情報の保護に関する条例**

個人情報保護制度が一元化されることに伴い、議会は同法の適用除外となっていることから、本条例を制定。

一部改正

- **職員の定年等に関する条例**

職員の定年の年齢を国家公務員と同様の取扱いに改正。

- **地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**

職員の定年等に関する条例の改正に伴い、改正が必要となる9本の条例を一括して条例の一部を改正。

- **白糠町国民健康保険条例**

健康保険法施行令等の一部を改正する政令により、出産育児一時金の額が改正となり出産育児一時金「40万8千円」を「48万8千円」に引き上げるため条例の一部を改正。

- **白糠町道路占用条例**

- **白糠町都市公園条例**

北海道道路占用徴収条例の占用料金が改正されたことに伴い、同条例に準じて制定している2件の条例の一部を改正。

報告 産業厚生常任委員会 所管事務調査報告

◎調査期日

・事務調査

令和4年12月26日

令和5年2月1日

・行政視察

令和5年2月7日

◎調査の目的

本町の第一次産業の農業の基幹である酪農は、昨今のウクライナ情勢、円安等の影響により、燃料や飼料等生産資材費の高騰が続ぎ、その経営を直撃している。

政府は、酪農を含む農畜産物の生産について「食料・農業・農村基本計画」を策定し、飼料自給率の引き上げ目標を設定することで、輸入飼料に依存した畜産から、国産飼料に立脚した畜産への転換を目指しており、その手法として放牧酪農による取り組みが推進されている。

このようなことから本町でも、より一層、放牧酪農を取り入れることにより、耕作放棄地等の解消による農業地域の多面的機能の発揮や、コス

ト・労力の低減による農家経営の維持・安定、後継者不足の解消に寄与することに繋がらないか、調査を行った。

◎調査の経過

●視察先の概要

・名称 ありがとう牧場

（足寄町茂喜登牛 104）

・代表者 吉川友二

・飼養頭数 約100頭

（経産牛約60頭、子牛約30頭、雑種約10頭）

・放牧地 約100ha

（放牧地80ha、林地等20ha）

・生乳出荷量

年間約250ト

・1頭当たり乳量

年間約5,000キロ

足寄町の農家戸数は

215戸で、酪農家は79戸。

その内舎飼いは45戸で、放牧

は34戸である。足寄町には放

牧酪農研究会という団体があ

り約30年前から町を挙げて放

牧酪農を推進している。

●一般的な放牧酪農のメリット

・配合飼料の割合が減る（使

わない農家もいる）ので、飼

料コストが大幅に減少する。
・夏の間は牛が自由に草を食べ、放牧地に糞尿をするため、エサやりや糞尿処理などの労力が大幅に減る。

・同様に、飼料や糞尿の運搬作業が減るため、農業機械に係る燃料費、修繕料、更新費用などが大幅に減る。

・牛を放すことで牧草が育つので、長期にわたり草地更新の必要性が無い。

・牛が放牧地を歩くことにより足腰が強くなり、病気が減り、健康で長生きすることで、コスト縮減、搾乳期間の延長に繋がる。

・放牧酪農は舎飼いに比べると、1頭当たりの所得が大体倍になる。舎飼いの酪農家が、牛を100頭飼わなければ経営ができないとした場合、放牧では50頭いれば経営が成り立つ。

・放牧酪農は舎飼いに比べて労力が少なく、経営面でも安定をしていることから、そのことに魅力を感じて、諸外国では後継者が絶えない。足寄町でも毎年1戸程度の新規就農者があり、農村人口の維持に貢献している。

●視察先の特徴的な取り組み

・ホルスタインとジャージーを掛け合わせた雑種の割合を増やしている。世界の潮流は、雑種強勢とのことである。

・基本的には牧草を食べさせるが、冬場にどうしてもエサが不足するときは道産の子実コーンやビートパルプを与えており、輸入飼料は一切使っていない。

・季節繁殖を実施しており、12月の下旬頃には搾乳を終え、2月の下旬から3月上旬に子牛が生まれると、また搾乳を開始する。乾乳期を揃えることで1月から2月は牛も人も休みとなり、心身ともに余裕を持った酪農経営に繋がっている。

●視察先では、放牧酪農によるデメリットは特に無かったが、一般的に言われているのは

・朝晩の搾乳のため、放牧地はある程度まとまった土地が搾乳場所と隣接していることが望ましい。
・舎飼いに比して乳量が少ない。（酪農家個々の経営面では、乳量の減少よりもコストの減少が上回るため、デメリットにはならない。）
・放牧地に発生するダニや寄

生虫などの影響による牛の健康管理。

・舎飼いから転換する場合は、放牧に牛を慣れさせる必要がある。

●現行の舎飼い酪農の問題と

言われているのは
・日本の酪農牛の主流はホルスタインだが、乳量が多い反面飼料転換効率が悪く、たくさんエサをやる必要がある。要するに費用対効果が悪い。
・舎飼いによる大規模化は、牛を過度に集積するため、その区域では吸収できないほどの糞尿が発生し、環境問題となる。

・基本的に穀物飼料は牛の健康を害する。結果廃用となる時期が早くなり、牛の価格が高い日本では経営負担となる。大規模舎飼いは、アメリカのように牛の価格が安い（日本の10分の1）国の経営手法である。

・舎飼い酪農は、狭い空間に牛を閉じ込め、牛が病気になる寸前までエサを与えて乳を搾る手法で、ニワトリのケージ飼いと同様である。国際的にはアニマルウェルフェアに反する行為であり、その観点からも世界の若者を中心に敬

遠される経営手法である。

◎所見

放牧酪農のメリット・デメリットは様々であるが、政府も低コスト・省力化、耕作放棄地の再生利用等を促すため放牧による畜産や酪農を推進していることから、本町の酪農業とマッチするか、町やJA、酪農家など関係者と議論を深め、研究をする余地は多分にあると思料され、本委員会でも引き続き調査を要する事項と判断する。

【主な質疑】

問 視察を冬期間に実施した。放牧は草地を見なければならぬと思うが、時期がどうして今なのか。

答 私たちの任期の間に話を聞くというのが非常に大事ではないかということを実施した。

問 冬期間に食べさせる牧草の収穫はどのぐらいの面積なのか。

答 面積については確認していないが、夏の間、ある程度の乾草を貯めておいて、冬にそれを食べさせている。



報告 議会改革・活性化特別委員会 所管事務調査報告（令和元年6月～5年2月）

◎委員会等開催状況

①議会改革・活性化特別委員会

②小委員会

③分科会

・総務・文教分科会

・産業・厚生分科会

・議会運営分科会

・広報・広聴分科会

④活動結果

①「町民と議会の懇談会」の開催

白糠町議会基本条例に基づき、議会活動に関する情報公開、町民に対する説明責任を果たすとともに、町民の意見を議会の討議に反映させることを目的に、町民と議会の懇談会を毎年度開催した。

②議会改革活性化特別委員会

研修会の実施

本特別委員会を円滑に進めることを目的に、議会改革の先進地である他町村の事例や、町村議会が抱える現状と課題に関する研修会を、令和元年6月26日に実施した。

③「議会出前懇談会」の新設

町民に開かれた議会、町民や各種団体と議員が、いつでもどこでも意見交換ができる場として「議会出前懇談会」を新設した。

町民が5人以上集まれば、希望するテーマに沿って所管する議員が指定される場所に出向き、自由闊達に意見交換ができる場とした。

④提言書の提出と改善

予算・決算審査の運営や旅費の見直しについて、3件の提言を委員会報告書として執行機関に提言し、改善が図られた。

・新年度予算提案説明の簡略化

・決算審査特別委員会の会期中の開催

・旅費条例の見直し

⑤議会関係例規の検証及び改正

議会の基本条例、会議規則、委員会条例、傍聴規則、運営

に関する基準、政治倫理要綱、先例の全条項を審議・検証し、

必要な改正を行った。

⑥議員定数・議員報酬・政務活動費の協議及び改正

特別委員会が組成されてから、総務・文教、産業・厚生

の2つの分科会で議論を重ね、

議員それぞれの考え方をまと

めた。その後も町民からの意見

聴取や特別委員会での協議を

重ね、方向性を決定し、令和

4年第3回定例会で委員会

報告をした。

○決定事項

・議員定数

13名から12名とする。

・議員報酬等

現行から10%増額する。

・議長、副議長、委員長は、

議員と同じ額を増額する。

・政務活動費 支給しない。

予算 審査

令和5年度の各会計予算審査は、予算審査特別委員会を設置し、委員長に小池憲一議員、副委員長に福地裕行議員を互選して、3月6日から8日の3日間の日程で行いました。

各課から新規事業等の説明を受け、質疑応答により慎重に審査しました。各課の主な質疑をお知らせします。(予算の内容は3月24日発行の町広報をご覧ください。)

各会計予算額

(単位：千円、%)

会 計	令和5年度	令和4年度	増減	増減率	
一 般 会 計	17,430,000	16,967,000	463,000	2.7	
特 別 会 計	国民健康保険	1,029,395	1,004,941	24,454	2.4
	簡易水道及び 飲用水道供給事業	192,830	75,610	117,220	155.0
	公共下水道事業	1,040,144	712,219	327,925	46.0
	介護保険	1,086,478	1,099,417	▲ 12,939	▲ 1.2
	後期高齢者医療	147,084	141,126	5,958	4.2
	計	3,495,931	3,033,313	462,618	15.3
合 計	20,925,931	20,000,313	925,618	4.6	

といった部分があるので、今後、庁舎をどう改修していくのかも含め、現況を調査したいと考えている。この委託業務で、悪いところを洗い出した上で、今後の基礎資料としてたいと考えている。

地域防災課

問 津波避難施設等整備事業の4事業の概要を詳しく。

答 1点目、釧白工業団地の避難路の整備は釧白工業団地の第1工区、釧路市に1番近い地域になる。こちらの地域は、空港短絡線が津波避難場所になっていて、距離がかなり遠く、車で逃げる場合は渋滞が想定されるため、避難が遅れた方に関して、工業団地の北側にある東部開発の協力を得て、避難場所の提供をしていただけるので、その避難場所へ続く、古川を渡る林道橋と避難路を整備する。

2点目、旧白糠小学校の施設に関して、東側に避難階段とスロープを設置して、屋上に避難するような整備にな



整備予定の救命艇

る。3点目、西庶路地区は、新しい庶路支所(旧創価学会白糠会館)の駐車場敷地内に、新たに避難タワーを整備して、ふれあい連絡票等の要支援者に対する避難の施設という形になる。

4点目、庶路地区の津波救命艇に関しては、恋問集会所の横の駐車場になっている敷地に、救命艇を設置する整備となる。

税 務 課

問 自主納税の推進ということで、コンビニ等利用している割合は。

答 一般税は、納付件数が2万5,577件に対し、口座振替が7,251件、約28・35%。コンビニが6,854件、26・8%。郵便振替納付が2,013件の7・87%。窓口納付が36・98%で9,459件となっている。窓口納付は、金融機関もしくは役場の出納窓口、庶路支所で納めた件数となっている。

庶路支所

問 庶路支所改築事業の件で、現時点の改修工事と備品整備の詳細は。

答 工事は、4つの事業で実施したいと考えている。1点目、施設全体のバリアフリー化を中心に行う。2点目、電気設備工事は、主に照明灯部のLED化に伴う工事。

企画財政課

問 企業活動への支援で、令和4年度は、5,000万円の予算が計上され、今年度は、4倍の2億円になっているが、令和4年の実績と令和5年度の見込みについて。

答 令和4年度の現時点での申込みは4件で、現在の決算見込み額は、1億1,400万円となっている。令和5年度は、令和4年度の決算と同様に4件の見込みを立て、上限額5,000万円として、2億円としている。現時点で相談はあるが、正式な申請はない。

問 乳呑集会所の改修について、年間どれくらい使用されているのか。

答 ひと月当たり大体20名前後の利用があり、年200名前後となっている。

問 ふるさと納税が少なくなってきた場合、町財政は大丈夫か。

答 ふるさと納税を財源として、町の運営、財政運営をし

3点目、機械設備工事は、冷暖房設備など、既存施設の一部改修。

4点目、釧路方面帯広方面の2か所に案内看板の設置工事。備品の主なものとして、玄関用の野外用ベンチ、事務用の机、スチール書棚、申請書記載台、サインレジ装置、管理人室の事務用椅子、給湯室の冷凍庫、食器棚、会議用のテーブル椅子、非常用の発電設備用ガスボンベセットを予定している。

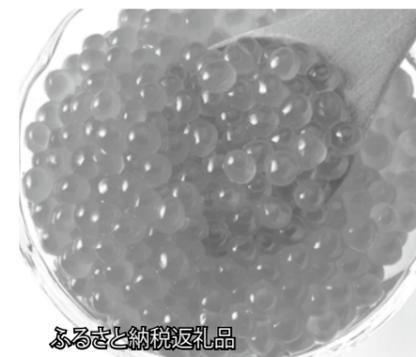
町民サービス課

問 後期高齢者医療の保険料の負担が今年度は値上がりという心配はないか。

答 令和4年度と令和5年度は保険料の変更はないが、令和6年度以降で保険料の負担が上がる見込み。

問 窓口サービスの充実というところで、マイナンバーカードの普及をしているが、分かる範囲での普及率は大体どの程度か。

ているということではないので、万が一ふるさと納税がなかった場合にも、健全に運営することができる内容となっている。



ふるさと納税返礼品

総 務 課

問 庁舎現況調査等業務の内容は。

答 現在、雨漏り12か所、窓の開閉が出来ない部分が29か所、目に見える部分での経年劣化がある状況で、そのほかの修繕等でもトイレの詰まり

答 マイナンバーカードの普及率交付率、2月末現在で交付が69・8%、申請が75・81%となっている。



介護福祉課

問 アイヌコタン再生整備事業のアイヌコタン展示品等製作業務、9,950万円の詳細は。

答 主なものは、コタンを再現したジオラマ、自動再生で3大祭り等を紹介できるシアター製作の他、チセ、食品庫、熊檻を忠実に再現したいと考えている。

問 アイヌコタンの関係、指定管理者等の扱いと名称は。
答 施設の指定管理者及び名称について、今後、検討したいと考えている。

問 高齢者団体への支援で、カラオケ機器の設置があるが、令和4年にも3か所に1台ずつ設置となって、今年も新しいのを設置するのか。
答 新規ではなく今年度も賃借でそれぞれ1台設置する。

問 生き生きしらぬか日帰り温泉事業の件、弟子屈、川湯まで距離が遠いという話もあるので今年度の予定は。
答 川湯の温泉に入りたいという希望が多いので、昨年も川湯温泉で実施した。今年度の実施場所は未定となっている。

問 認知症施策の推進で、認知症ガイドブックを活用した啓発、活動の今年度の予算はないのか。
答 令和4年度は、ガイドブックを作成のため予算を計上していたが、令和5年度は、引き続き4年度に作成したガイドブックを活用して、普及啓発をする予定となっているため、予算計上していない。

問 新縫別の町道の調査で1,700万円と恋問線の排水路整備事業の9,200万円の内容を詳しく。
答 縫別川沿線は、国道から入り舗装の切れ目から簡易水道までの延長6キロほどの区間の概略設計を令和5年度に実施したいと考えている。その後、令和6年度以降に、実施設計を行う予定。
次に恋問線排水路に関しては平成28年に産炭基金を活用して、590mほどの排水路暗渠排水化を実施した。今回は、それから700mほど鉤路側の箇所ブロックが破損している部分の210mほどの暗渠化を図りたいと考えている。

建設課

問 岬の森東山公園改修事業の改修工事は、津波のときに緊急に避難できるような要素を持たせるのか。
答 令和5年度の東山公園の事業場所は、黄色いコンテナがある中段の広場で、この部

健康こども課

問 带状疱疹について、50歳以上の方に予防接種の費用助成ということだが、何歳までという制限はないのか。
答 50歳以上で上限はないが、対象人数が非常に多いことから、50歳以上の5歳刻みで、助成事業を実施するというところで決定している。



問 幸せわくわく結婚サポート事業の1,800万円の内訳は。
答 白糠ふるさと振興協会への助成で、婚活のイベントを開催するに当たって、

分の改修工事を予定している。そこにバイオトイレ、東屋などを整備する。津波対策ということになると、次年度以降、弔魂碑に登る階段が案内版の横にあるが、老朽化、段差も激しいので、リニューアルすること、避難路につながる経路になると考えている。



東山公園中段の広場

問 乳呑公園が改修されて、立派な公園になりつつあるが、公園が出来たら交通量が多くなると思うが、道路のカーブが多いことから事故防止のため、ガードレールの整備等の予定はないのか。

200万円を助成する。その他、結婚支援生活支援事業で39歳以下で結婚される方への60万円の補助と、家具・家電の購入費用で1世帯20万円までの助成の、計80万円×20組で1,600万円を計上し、合計で1,800万円の予算となっている。

経済課

問 林産業の振興で、若い世代と女性に、具体的にどのような働きかけをしているか。そして、今後の取り組みは。
答 若い世代の担い手対策として、くしろ西森林組合の取り組みに対する補助金という内容で、令和4年度の実績としては、白糠高校が行う「総合的な探究の時間」の中で一次産業を見学し、循環型の森づくりや未利用材の活用の説明をした内容。他には、庶路と白糠のこども園や図書館に木育のための遊具を設置している。女性に対する働きかけは、特に性別を分け、ターゲットを絞ってということはない。

問 ガードレールの設置までは考えてはないが、主要なところに看板を設置するなど考えていきたい。
答 ガードレールの設置までは考えてはないが、主要なところに看板を設置するなど考えていきたい。

水道課

問 下水道の整備で、令和5年度は3か所予定しているが、どれだけ残っているのか。
答 交付金が満度に配分されると、計画されている下水道整備は令和5年度中に全て終わる予定。

管理課

問 地域域未来留學事業に関する旅費の内訳。
答 東京2回分を予定。

問 特別支援教育で子供支援員を7名配置するということが、去年より2人増員されているが、各学校の障がいのある児童生徒、保護者に対応ができるということか。
答 令和4年度の特別支援学級の在籍者数は、町内全校で

今後の取り組みは、白糠高校、小学校、中学校、保育園、こども園の方々に森林の大切さを普及できればと考えている。中学生に体験していただく場面を学校、学園と協力しながら実施できればと考えている。



問 新規就農者の支援事業の内容をもう少し詳しく。
答 支援事業補助金は、施設整備の上限単価を今まで500万円が上限だったが、今回1,000万円に拡充した。

令和5年度は、新規就農者5名分の予算を確保している。改正内容は、施設整備と農地取得について、新規就農

小学校が28名、中学校が8名の36名。次年度は、小学校31名、中学校16名の合計47名となり、11名増員することとなっている。そういった児童・生徒にきめ細やかな対応をするには、現状の人数では教員の数が不足することから、白糠学園と庶路学園から1名ずつ増員の要望により、現在の5名から7名体制で行いたいと考えている。

問 青少年海外研修事業の選考方法と渡航先は。
答 選考は、白糠学園2名、茶路中学校2名、庶路学園2名、白糠高校2名の8名と引率の4名を予定している。渡航先はニュージーランドで時期は、2月を予定している。

社会教育課

問 社会福祉センターの改築事業でどのように整備しようとしているのか。
答 現有の敷地面積に、どのような規模あるかは機能が必要なのかはこれからの基本構想で議論していきたい。

問 白糠町営野球場の改修事業の詳しい内訳。
答 バックネットは取り壊して新築する。管理棟（スパーハウス）も新たに設置したい。

学校給食センター

問 学校給食費の未納者分の整理はいつなのか。
答 現在の残高は、335万6円となっている。



問いかけ 提案する

一般質問

議員7名が12件13項目について質問しました。
※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

石田 正義 議員・・・・・・・・・・13ページ

- 1 新型コロナウイルス感染対策について
- 2 農業振興について
- 3 移住定住について

澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・14ページ

- 1 町の人口は、著しく減少している、この対策について

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・15ページ

- 1 マイナンバーカード保険証の問題点について
- 2 新型コロナ「5類引き下げ」について

立石 巧 議員・・・・・・・・・・16ページ

- 1 冬期間における防火水槽の管理について
- 2 高齢者の冬場の健康維持について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・17ページ

- 1 特別養護老人ホーム清和園入居希望待機者に対する支援について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・18ページ

- 1 ワクチン接種後遺症対策について
- 2 スマホ教室について

小池 憲一 議員・・・・・・・・・・19ページ

- 1 電気・燃料・物価等高騰対策について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会
が校正したものです。

問 新型コロナウイルス感
染対策制限緩和の
今後の対応を問う

答 基本的対策は今後
も継続していく考
えである

問 コロナウイルス感染症は、
2類から5類に緩和されると
あるが、今後の不安の声があ
り考え方を伺う。

答 新型コロナウイルス感染症は、5月
8日以降5類感染症に移行す
ることが決定された。

それに伴い、従来無料で
あった医療費は、期限を区
切って公費支援が継続される
が、いずれ自己負担となる。

問 また、マスク着用の仕方
も変わり感染が拡大するの
はないかと不安の声もある。

答 町としては、日頃からの感
染予防が大事であるとの考え
で、三密回避、手指消毒、換
気、推奨される場面に応じた
マスク着用など、基本的対策
は、今後も継続していきたい。

問 農業振興について畜
産業、酪農業への支
援の考え方を伺う

答 北海道・道議会の協
力を要請をし、国に要
望活動を講じる準備
を進めている

問 物価高により、飼料高騰、
酪農家は思案の限界を超えて
いる。できることがあれば何
でもやってほしい。

答 この厳しい現状は、国や
業界団体が抜本的な対策を講
じなければならぬ状況と認
識している。何としても歯止
めをかけるべく、経営を継続
するために必要な支援とも
に、生乳の安定的な生産拡大
に向けた取り組みの充実強化
等を実施するよう、北海道と
道議会に協力を要請、早急に
国に対して要望活動をしてい
く準備を進めている。

問 新聞報道によると根釧酪
農ビジョン推進会議において、
別海町長曾根氏は、酪農経営
は厳しいからなんとかしてく
れとの要請では、国や道も

困ってしまう。具体的政策
を掲げることが必要だと述べ
た。

答 今までのような事では、
打開できない段階にきている
と認識している。

次の5項目をしっかりと中央
に訴えていく考えである。
○経営を継続するための支援
○生乳の安定的な生産拡大
○生乳・乳製品輸出拡大促進
○生乳・乳製品の需要拡大
○国産飼料の安定的生産と配
合飼料の価格安定対策の推進

問 飼料の自給自足の観点か
らデントコーンの作付けへの
支援など地元を守っていく方
策はないか。

答 トータルで支援があつて
各々の農家で考えていかなければならない問題になる。
酪農家全体が厳しい、知恵
を出して、しっかり対応して
いかなければならない。

問 町内業者新規採用者
に移住・定住の支援
の考え方を伺う

答 空き家住宅の利活
用も含め、総合的
に検討していく

問 今年合同企業説明会を
行って、釧路などからも説明
会に参加したと聞く。

新規採用した者に、空き家
住宅などをリノベーションし、
住宅や社員寮とした場合、移
住や定住を促すためのに応分
の費用負担はできないか。

答 町内業者が人手不足に
困っている中、社宅等住宅環
境を整備し雇用の確保を図る
ことは重要な取り組みと考
える。

しかし、すでに社宅等を整
備し、人材を確保している業
者もあり、現在のニーズや、
他自治体の支援状況等も参考
に総合的に検討していく。



石田正義 議員



澤原孝行 議員

問 人口減少対策について

他自治体の事例を取り入れるなど、更に積極的に取り組んでいく

問 わが町はここ数年、生まれる人よりも亡くなる人が多いため、人口減少対策として更なる施策がないか伺う。

答 人口減少問題については、国における最重要課題であり、出生数から死亡数を減じた、「自然増減」については、全国の市町村においても同様にその減少の速度を抑制すべく対策に取り組んでいるところである。

その上で、本町では妊娠か

ら出産、子育てまで切れ目のない、子育てのトータル支援と、住宅を新築する方へ町有地を無償で提供する住宅施策などを掛け合わせて展開してきたことにより、「社会増減」の減少速度が抑制されており、一定の成果はあげているが、非常に難しい課題として捉えている。

今後においては、これら事業の継続と、まちの魅力を町内外へ広く発信するとともに、他自治体の事例を取り入れるなど、更に積極的に取り組む。

問 町内の商店街等を部分的に整備し、人の集まる町を作る事で、活性化につながると思うが伺う。

答 町内の商店街の整備は従来の計画では、現在整備を進めている。商店街の整備は、総合計画に入っていないので、今後、商店街の整備については、総合計画に基づいて考えていく。

問 マイナンバーカード保険証の問題点について

答 わかりやすい丁寧な説明をし、普及促進に取り組む

問 政府は2024年秋に現在の健康保険証を廃止して、マイナンバーカードで一体化した形に切替えると発表した。現在のカード作成者の割合と保険証の申請書数について。

答 カード作成者の割合は令和5年1月末現在で71・4%交付率は65・7%。保険証の申請者は、基本的には自身が登録することになっているので数は把握していない。パソコン、スマートフォンを持っていない高齢者には登録の支援をしている。

問 マイナンバーカード保険証のメリットとして、通院が便利、データの共有が可能、ポイントの付与等がいわれているが、デメリットも説明しているのか。

答 この制度開始当初からカードの盗難や紛失した際のセキュリティ体制への疑念、個人情報漏洩への不安、カードを持つことへの抵抗感など多くの国民の声が寄せられていた。国はカードや暗証番号を適正に管理することで、リスクが軽減できると説明している。わかりやすい丁寧な説明をし、より多くの方々がマイナンバーカードの活用を促すことに取り組んでいく。

問 マイナンバー保険証のデメリットとして、他人が使うことができないので、認知症の患者や、子どもは受け付けできない。日常的に保険証を持ち歩けばカード紛失などが増大する。5年ごとの更新が必要で、手続きを忘れるとマイナ保険証として使えないなど指摘されている。リスク等を十分説明して取り組むべきと思うが伺う。

答 メリット、デメリットは、それぞれの人を受け止め方、とらえ方だと思ふ。更新の際は個々に通知するようになっていく。

問 新型コロナウイルス「5類引き下げ」による対応について

答 国や道の方針の決定により情報を発信していく

問 政府は新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを5月にも季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げの方針を決めた。法律上の位置付けを変えても、新型コロナウイルスの病原性、感染力が弱まるわけでもないと思うが、マスク等の対応を含めて町の考えを伺う。

答 マスク等の着用については、これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていたが、国は3月13日から個人の判断に委ねることを基本とする事とした。しかしながら、高齢者施設などを訪問する時などは、マスクの着用を国として推奨していく考えである。町としては、マスク着用の考え方の見直しがあっても、今まで通り三密回避、手指消毒、換気等の基本的な

感染対策について、継続して頂きたいと考えている。

問 5類への引き下げで、医療費の公費負担の縮小も議論されている。自己負担が生じ受診や、治療を控える事態も出て大きな影響が出るといわれている。後遺症で苦しんでいる人もいる。

答 指摘された心配な点については、国に対し、十分考慮してほしいとの意見を発信していく。



修繕された西庶路コミセン前の歩道

西庶路コミセン前の歩道整備について

令和元年第4回定例会
坂本議員の一般質問

西庶路の明治通りから西庶路コミセン前の歩道はマンホールの突起、凸凹で特に高齢者の往来が大変で事故に繋がる可能性がある。歩道の整備の予定計画があるのか。

答弁

老朽化の著しい箇所を優先に計画的に整備する

車道や歩道の凍上による段差や老朽化は、日常の道路パトロールの中で目視での点検を行い、その結果を基に、通学路や公共施設の利用等、通行が多くて老朽化の著しい箇所から優先的に補修・整備を実施する。

どうなった

凸凹が無くなり歩きやすくなった

西庶路コミセン前の歩道が補修・整備が行われ凸凹がなくなり歩きやすくなった。今後も老朽化の著しい箇所から優先的に補修・整備が実施される。



鎌田民子 議員



立石 巧 議員

問 冬期間における防火水槽の管理

問 冬期間は全国的にも火災の発生率が高いと思われるが、白糠町には防火水槽は何か所あるのか。

答 月1回の点検・凍結防止処置も実施しているのか伺う。

答 現在、町内には47基が設置されている。

点検と管理については、消火活動を行うため、水利確保に万全を期さなければならぬ。釧路市西消防署白糠支署が、水利点検として通年で月1回、防火水槽の水の状況、漏水の有無などを確認し、問題があった場合はその都度対応をしている。

冬期間については、凍結により蓋の開閉に支障が出ないよう事前に内側をビニールシートで覆う措置をしている。

それとともに、月1回の水利点検に加えて、特に凍結が

見込まれる箇所には凍結防止処置を毎日実施している。その他、降雪後には防火水槽全基の除雪並びに点検を行って、消防団においても、防火査察や定例出動時に点検等を行っている。

町としては、今後も火災発生時における迅速な消火活動が行えるよう、白糠支署並びに消防団と連携しながら、消水利の維持管理を行い、住民の安全・安心に努めていく。

問 高齢者の冬場の健康維持について

答 ニーズを把握し、さらに充実させる

問 高齢者は夏場には屋外でウォーキング等を楽しんでいるが、冬場は家の中にこもりがちなので、健康維持のために屋内でも楽しみながら運動習慣を身につけられる何か新しい施策を考えているか伺う。

答 屋外専用ウォーキングコースを設置している白糠町スポーツ広場においては、令和4年4月から11月までの8カ月で、高齢者の方々を中心

に延べ人数で約1,800人が利用されている。冬期間においても、総合体育館及び温水プール、トレーニングジムなどの屋内施設を多くの方が利用され、定期的な運動に取り組んでいただいている。

教育行政執行方針に掲げている「生涯スポーツの充実」の観点から、誰もが気軽にできる「エンジョイスポーツ教室」を毎年冬期間に開催し、本町発祥の「ゲートカーリング」などを通じて、健康維持の一助となる事業を進めているところ。

更には東京パラリンピックで一躍有名になった「ボッチャ」の普及を図ることにより、年齢を問わず、町民が屋内でも楽しめるような新たな事業も展開させていく予定。今後においては、高齢者の方々のニーズを的確にとらえながら、気軽にできるようスポーツを模索するとともに、日常的に運動習慣を身につけてもらえるような取り組みを町広報紙やポスターの掲示にて引き続き周知していく。



ボッチャ

問 清和園入居希望待機者に対する支援は

答 安心して地域で暮らし続けることができるよう取り組む

問 特別養護老人ホーム清和園に入居希望の待機者が100名以上となっている。他の施設等に入居している方、自宅で介護を受けながら待機している方、どちらも清和園への入居を希望しているが、特に問題になるのは要介護3以上の方の待機である。高齢化社会であり今後さらに増える可能性もある。待機者に対する支援が必要と思うが。

答 町内で、特別養護老人ホームの入所要件である要介護3以上の方は、令和5年1月末現在231名おり、この内81名の方が町内外の特別養護老人ホームに入所され、その他150名はケアマネジャー等が相談に乗り、実情に合わせた介護サービスの調整が行われ、高齢者施設等への入居や在宅での生活を送っている。

清和園の定員は80名となっており、入所申し込み待機者は令和5年1月末現在108名で、そのうち町民は46名、このうち自宅待機者は16名になっている。

要介護3以上の待機者の支援であるが、現在、白糠町では要介護3以上の在宅の方を対象に、35ℓ用のごみ袋を年間104枚支給しているほか、令和3年度からは介護用品券として、要介護3の方には月額3,000円分、要介護4並びに要介護5の方には月額5,000円分を支給しているところであり大変好評を得ている。要介護3以上の方が入所できる特別養護老人ホーム以外の施設として

は、介護老人保健施設やグループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、高齢者下宿などがあり、それぞれ目的は違うが、低所得者には、減免制度を活用することにより入所が可能になっている。待機している間のケアは一番身近にいるケアマネジャーと相談して、デイサービスやショートステイなどの

問 要介護1、2を含めると何名か。

答 459名いる。

問 特別養護老人ホームに入所されている81名の入所先は。

答 清和園に50名、釧路地方の特別養護老人ホームへ31名となっている。

問 他の150名の入所先は。

答 老健施設に27名、医療機関10名、高齢者施設等に10名、在宅が103名。

問 本人も家族も自宅で過ごしたいという考えが強いと思われるが、要介護4から5の方を介護するのは負担が大きいの。他の施設等は特別養護老人ホームに比較し、経済的負担は多くなるのか。

答 特別養護老人ホームと介護老人保健施設は介護保険の適用になりほぼ同じような値段になるが所得により金額が変わる。高齢者下宿、グループホーム、有料老人ホームは安くても10万円前後かかり介護サービスが高くなれば負担も増える。

問 低所得の入所者に対する減免措置制度の利用者は。

答 白糠町から清和園への入所は大部分の方が対象になっている。

問 自宅で介護を受けている方への支援はあるがまだ不足していると思う。今このような状態で苦勞されている方は、戦後日本を支えてきた方々、子育ても、もちろん大切だがそのような方々をケアしていくのも必要と思うが。

答 介護保険制度のなかで個々にあった最善の対応をしていく。



中河 敏史 議員



福地 裕行 議員

問

ワクチン被害は甚大

答

国に従い粛々と対応する

つまり打てば打つほど接種者同士で感染し合っている客観状況であり、その結果として甚大、且つ深刻なワクチン死、そしてワクチン後遺症が報告されている。

しかし、政府は責任追求から逃れるため、未だ頑として因果関係を認めないことは理不尽の上なく、断罪すべきものである。

問 通り一編の答えで全く危機感がないと言わざるを得ない。

厚労省が発表した2022年の人口動態統計の速報値を精査すると、今いかに日本人が亡くなっているか一目瞭然で、ワクチン接種が原因と分かる。

現在、死者が1,967人、重篤な後遺症患者27,000人だが、NHKを始めとしたマスメディアは報道してこなかった。ここに来て週刊誌がやつと騒ぎ出したから、当然危機感を持つているだろうが、見てみぬふりをするのか公表のワクチン接種後の死者数は全体の2〜3%と言われているが、実際は10万人位との専門家の見方もある。

後遺症は自覚するしないに拘らず国内250万人で来年度以降1,000万人に達し、漸く国民は目覚めると言われる。真摯に受け止めるべきではない。

問 法定受託事業だから国に従うのは結構だが、鵜呑みにしてはいけない。

国の言いなりになることが、あなた方の保身につながるだろう。が、近い将来、阿鼻叫喚の事態が惹起するのではなにかと非常な危機感を持つ。

問 2月15日付で厚労省が発出したワクチン後遺症の調査に係る文章は読んでいるか。

答 未だ届いていないが、適正に対処する。

問 高齢者もスマホ習熟を

答 ニーズに応える

問 国は誰ひとり取り残されないデジタル社会の実現を掲げ、スマホ操作に不慣れな人の対策に乗り出し、21年度に5か年計画の「デジタル活用支援推進事業」をスタートさせ

問 この事業には、「全国展開型」「地域連携型」「講師派遣型」がある。本年度追加された講師派遣型に応募し、派遣先団体に選定されたが、相手方と調整がつかず実施できなかった。

21年度は、教育委員会が公民館講座でスマホ講座を開催し、4回延べ31名、本年度は6回延べ29名の参加があった。23年度以降は、本事業を活用してのスマホ教室開催に取り組む。

問 高齢者の習熟度を考えると「いつでもどこでも誰でも」教え乞える体制が必要だが。

答 教育委員会の講座は好評で継続希望もあるので、新年度も実施しニーズを把握する。



小池 憲一 議員

問 電気・燃料・物価高騰対策について

答 タイムリーな政策を打たないといけないと考えている

問 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響による小麦や油脂などの原材料価格の高騰や原油価格の上昇による物流費の値上がり、さらには円安による輸入コストの上昇により、昨年から数度にわたる電気料、燃料費、物価等の高騰により町民は大変な思いをしながらこの冬期間を過ごしている。

引き続き応援券等、行政の支援が必要と思いが現状をどう把握し、具体的な支援策について伺う。

答 昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻以来、食料の輸出国における供給体制の引き締めや原油価格の上昇、さらにはコロナ過からの経済活動の再開による需要の高まりなど、いろんな要因があるが、食料品やエネルギー価格が高騰している。

それに加えてわが国においては急激な円安が拍車をかけている状態になっている。

このことが消費生活並びに経済活動の大きな停滞を招いているところだが、天然ガスや石炭価格の上昇に伴う電気料金の高騰は過去に類を見ないほどの上昇を続けており、昨年の8月と本年1月の値上げにとどまらず、現在、北海道電力では国に対して6月か

ら約35%の再値上げの申請を行っていることから、この結果によってはさらに家計を苦しめ、コロナ過で落ち込んだ経済の回復の妨げになるのではないかと、懸念しているところである。

そのような状況を踏まえて、具体的な支援策について、町としては、昨年春からの物価高や原油高等の状況を考慮し、令和4年度は一人1万円相当の元気しらぬ応援券の配布を6月と11月の2度にわたって実施し、また上下水道料金についても令和3年度に続いて6か月分の基本料金を免除したところである。



問 16か月連続で上昇を続けることが想定しにくい状況にある。

- 傍聴者へのお願い
1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
2 開議中は、飲食・喫煙はできません。
3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないように下さい。
5 帽子、オーバーコート等は着用しないで下さい。

議会に足を運んでみませんか。
町民みなさんの議会です。
定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。
町のホームページにも議会情報を掲載しております。
https://www.town.shiranuka.lg.jp/

総務文教常任委員会

2月10日 ●ふるさと納税に関すること
3月20日 ●防災・減災に関すること

●ふるさと納税に関すること

担当課から、ふるさと納税の概要説明を受けた。

【主な質疑】

問 白糠に寄付をした都道府県ランキングに北海道が8位に入っていた。北海道内の返礼品はみんな同じようなものがあると思うが、北海道内からふるさと納税する魅力はどこにあるのか。

答 白糠町は商品のクオリティーが非常に高く、コロナが落ち着き11月、12月にかけて札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ)にイベントブースを出店し、返礼品だけでなく、白糠町の施策をPRさせてもらい、評価をいただいたのではないかと。

●防災・減災に関すること

担当課から、令和5年度の整備事業である、津波避難施設等について説明を受けた。

【主な質疑】

問 津波避難施設の完成年次は。

答 5年度、恋問地区に津波救命艇を整備。旧白糠小学校の整備と西庶路の避難タワーは、6年度又は7年度に完成する予定。駅前の複合施設は、避難施設が主ではないため、令和10年度完成予定と聞いている。

問 簡易トイレ1箇所につき2個なら、混み合ってしまうのでは。

答 コンテナの簡易トイレは各施設に2つづつ、今回の厳冬期の資材で携帯トイレも用意した。足りないということもあるので、検討していきたい。

全員協議会

2月24日 ●第8次白糠町総合計画 後期実行計画の策定について

●第8次白糠町総合計画 後期実行計画の策定について

町から、第8次白糠町総合計画後期実行計画の策定について説明を受けた。

【主な質疑】

問 社会福祉センターの改築は、白糠町文化会館の建設に変わるものなのか。

答 文化会館の建設という項目だったが、社会福祉センターの改築が議論の入り口だろうということで名称を変更した。

問 公営住宅の整備の関係。橋北や日の出の3階建ての公住の入り口がコンクリートで段差がついている所の改修をどのように考えているか。

答 公住の入り口の段差などの修繕は、毎年度の予算の修善の中で対応していきたい。

問 「男女共同参画、人権尊重社会の形成」というところで、人権意識を高めるため、啓発活動を推進し人権が尊重される町づくりを進めますということだが、性の多様性の尊重も含めた人権の尊重というふうにつけていいのか。

答 啓発等は法務局の人権擁護委員が相談に乗ったり、年に何回か学校に講習に行ったりしており、内容等は詳しくは承知していないが、今後そういうLGBTQの関係も法務局と連携を取りながら、確認させていただきたい。

その他の委員会・協議会活動

- 議会運営委員会 1月27日、2月14日・22日、3月2日・30日
- 産業厚生常任委員会 2月21日
- 広報広聴調査特別委員会 4月10日・14日
- 議会改革・活性化特別委員会 2月24日、4月12日

委員会・協議会の活動

産業厚生常任委員会

1月23日 ●第一次産業の振興・発展に関すること
2月1日

●行政視察について

視察先として、福地議員より「ありがとう牧場」との意見があり、正副委員長で協議をした内容について検討した。

【協議内容】

1点目、放牧をしている頭数が100頭、面積が100haで規模はかなり大きな牧場ということで本町の参考とするには規模感が合わないのでは。

2点目、放牧の期間が4月の下旬から12月の中旬で、1月から2月は搾乳もしていないので、放牧酪農の現場を見る目的からすると今の時期に見に行くことが果たしてどうなのか。

《意見》

- ・牧場も大切だが、野菜を作っているところも研修しては。
- ・時期的に難しい。
- ・近隣にあるこういった所を見て聞いて、そして提言もしていく。

《行政視察実施の採決》

- ・賛成 立石副委員長、福地委員、澤原委員
- ・反対 折出委員

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

1月23日 ●道の駅しらぬか恋問改築事業（事業者選定）の報告について

●道の駅しらぬか恋問改築事業（事業者選定）の報告

担当課より、昨年9月16日の公募により株式会社オカモトを代表事業所とするチームSTAMPの1グループから提案書の提出があり、1月17日の選定委員会で審査基準により審査した結果、設計、建設、管理運営などすべての項目で要求水準を満たしており、チームSTAMPを受託事業者として決定したとの報告を受けた。

【主な質疑】

問 業者の応募は1件だけなのか。また、応募に対しての問い合わせはあったのか。

答 広く公募はしたが、1社の応募で、問い合わせは電話で2、3件あり、応募にまで至らなかった。

問 トウキョウトガリネズミの保護について、どうこの工事に意を用いていくのか。

答 トウキョウトガリネズミの生息調査も学者の先生達にやっただけではない。今の建設予定地には生息・活動が見られないと聞いているが、その辺のところも十分意を用いながら行い、トータルの中で環境保全には十分配慮していきたい。

問 浴室、RVパークも含めて有料か。

答 提案者からは有料ということで確認している。



道の駅イメージ

その他

●防災・減災関係について

▶高齢になり、避難訓練で東山に登るのが大変になってきた。今後建設予定のバスターミナルには、一時避難場所は作っていただけるのか。

東山は高齢者になってもスムーズに登れるよう、工夫して工事をしてほしい。

対現在建設が予定されている、駅前広場の複合施設の屋上が、一時避難場所になる予定と町側から聞いている。

東山公園は避難場所ということもあり、高齢者が避難しやすいような整備方法を考えていると、町側から聞いている。

●シカの食害関係

▶家庭菜園がシカの食害にあっている。西庶路界限に多く出没し、人慣れして逃げない。

防鹿柵やネットでもあれば一番良いが、金もかかる。鹿をうまく除く、対策というのはないのか。

対シカの食害における家庭菜園向けの特効薬は、今のところ無いというのが現状である。

●空き家関係について

▶空き家がすごく増えてきている。白糠町は空き家を解体する際に発生する費用への補助はあるのか。市町村によって違うと思うが、どのぐらい援助して頂けるのか。

答個人で解体する費用に対する補助はない。

対制度の構築に向け、検討するよう町に要請する。

●議場のコロナ対策について

▶議場内で、議員席と傍聴席の間がビニールで分断されている。また、マスクを着用しなければ入場できない。

この措置は、いつまでとを考えているのか。

対3月13日からマスク着用の緩和措置が実施されるが、3月定例会についてはこれまで同様の対応とし、その後開催される議会での対応については、議会運営委員会で方向性を協議する。

寄附金関係

●ふるさと納税について

▶ふるさと納税が無くなった時の対策をどう考えているのか。

答一つの事例として、お食事体験型返礼品というのがある。これは白糠の食材を提供して、そのお店で食事をして頂くという手法。それらのお店は、食べログという評価で軒並み3.5を超える高い評価を頂いており、全てが白糠の食材ではないが、かなりの結果が出ている。

ふるさと納税が無くなった場合でも、そういうお店と食材との関係を保っていくことにより、白糠の製品がその後も継続して納入されるという形を考えている。

町道

●道路について

▶馬主来大秋線から入り、約300mの町道区間に搾乳農家が2軒あるが、舗装になっていないので、早急に舗装をしてもらいたい。

対町の総合計画にはないが、町全体の計画と合わせて、町に要請する。

▶昨年の懇談会で、町道馬主来川沿い線と蜷川線のことと、大秋集会所前から北側に続く舗装道路の亀裂について質問し、議会だよりで回答があったが、現場を議会で見に行ったのか。

対産業厚生常任委員会では現場を見ていない。維持管理を含め、舗装化について町全体の総合計画で検討するよう町に要請する。

▶十数年前に西庶路から庶路まで抜ける明治通りが完成し、植樹帯が作られた。花園から下庶路近辺の植樹帯は何も植えておらず、雑草が生えていると見栄えが悪いので、防草シートなどで塞いってしまった方が良いのでは。

対町で、植樹帯に桜の木を植える計画があり、併せて雑草対策も検討中と聞いている。

町民と議会の懇談会

今期最後の町民と議会の懇談会が令和5年2月12日(日曜日)午後1時30分から、白糠町社会福祉センター大ホールで開催しました。

出席した方と、日ごろ気になっていることについて意見交換をしました。多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

主な質問・意見等

▶町民からの意見
 答議会の回答 対議会の今後の対応

駅前広場・道の駅

●駅前広場関係

▶建物の中には資料室が入るのではないかとこの話も聞いているが何が入るのか。

答まだ基本構想が議会に提示されていない。

近々、基本構想とか考え方は町から提示され待合室や避難場所など、いろんなことを構想の中に入れた基本設計が近々出されると考えている。

●道の駅関係

▶道の駅しらぬか恋問の移転改築及びこの計画について、どのような進捗になっているのか。

答道の駅は今の恋問館から白糠側に約400mの場所に移転することが決まっている。

運営方式は、DBO方式で設計、施工、運営を一括してできる業者を、去年の9月13日に公募し、1月23日に業者決定の報告を受けている。

公園

●馬主来自然公園について

▶町のパンフレット等で『ワカサギ釣りが楽しめます。夏には、シジミが獲れます。』とPRしているのに、なぜ冬期間、フンペリムセ発祥の地碑の駐車場を閉鎖するのか。

対過去に、自動車が沼に入って氷が割れて落ちる事故があり、冬期間は閉鎖するよう警察指導がある。対岸の音別側の駐車場は国道付帯の公共駐車場なので、そちらを利用していきたい。

白糠高等学校

●魅力化について

▶開塾5年未満である久遠塾の塾長並びに講師の多くが短期間で退職し続けているのはなぜなのか。

答一般の会社等であれば、長期雇用が普通だが、塾の場合はそこまでの継続性は難しい。将来に対する保障が懸念の材料にもなっている。

▶久遠塾の運営や活動費、人件費は国から交付税で措置されているそうだが、白糠高等学校魅力化プロジェクトに費やしている金額に見合うだけの成果が出ているのか。

答昨年の進路などは、卒業生25名中、進学11名。(内訳、国公立大学1名、私立大学2名、短期大学3名、専門各種学校5名)で、その他は100%就職している。

▶プロジェクト開始の目的の一つである町内外から意欲的な中学生を集め、白糠高校の活性化と間口の維持拡大を図るために久遠塾を中心にあらゆる方法で尽力していただきたいと私は願っているが、皆さんはいかがか。

答最終的には、白糠高校に沢山の生徒が来ていただきたい。さらに良いところを各中学校にPRし、各機関、多くの方の協力をいただきながら、もっと力を入れてもいいのではないかと思いますし、議会としてもそのようにしたいと思う。



議員の目

▶道立広域公園予定地入口



◀道立広域公園予定地入口まで3.6km看板



釧路管内全ての市町村が、道立広域公園の予定地を白糠町とすることで一致しました。

子どもたちが、安心して遊ぶことができる屋内遊戯施設が早期に建設され、更に子どもたちの笑顔輝く町になるのを期待しています。

撮影：石田正義 議員



あとがき

今期、最後の議会だよりとなります。この3年間は新型コロナウイルス感染症による影響で議会活動が大きく制限されてまいりました。そのような環境の中で、議員一人一人が町民の負託に応えられたのか反省する必要があります。幸いわが町はふるさと納税により、財政が好転し、今まで課題であったことができつつあります。しかしそのうらでは巨大地震災害なども指摘されており、町民及び財産を守るため備えなければなりません。4月、今後の白糠町を担う選挙があり、新たな議会構成となりますがWBCのチームのごとく一丸となって白糠町の未来にむけ努力していただきたいと思います。今、世界は日本を含め戦後一番の苦境にあり、解決の糸口が見えません。世界中の人が相手をリスペクトする必要があり、特に指導するものは謙虚でなくてはならないと思います。この4年間、町民皆様の期待に応えられたのか、反省しながら終わりにしたいと思います。(中河)



今号の表紙



今号の表紙は、現職議員での最後の町民と議会の懇談会です。

2月の寒い時期にもかかわらずたくさんの町民の方へ出席していただき、多くのご意見をいただきました。